

# 6 原稿用紙の使い方

## 1 縦書き原稿用紙の場合

(1) 原稿用紙は、二十字詰め二十行（又は、二十字詰め十行）のものが普通で、特殊なものを作る場合は、欄外に数字を明示する。

(2) 責任を持つという意味からは、ペン書きが望ましい。その場合、文字は黒かブルーブラック、又は、ブルーのインキで書くのが普通である。

(3) 原則として、一字一マスに書く（符号も同じ）。

題名・氏名の書き方

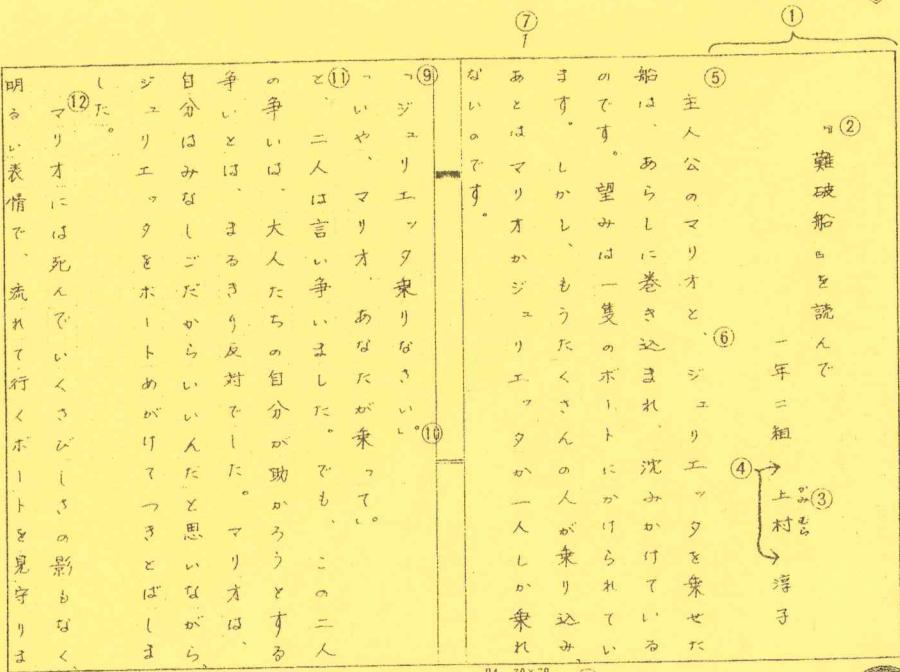
印刷用原稿のときは、特別の指定があればそれに従うが、普通は四、五行分のスペースをとる。

(5) 読み方が特殊なときは、ふり仮名（ルビ）を付ける。

本文の書き方

ア 書き始めや改行は、一字下げにする。

イ 文の途中で、原稿用紙がかわっても一字あきにしない。



## エ

。！？などの符号が行の最初にこないよう、文の方を工夫して書く。

2 「」「……」など、二マス分取る符号が二行にまたがらないように、文の方で操作する。

3 その他の洋符号（、、、など）は、特別の場合のほかは縦書きには使わない。

4 外国語の場合は、できるだけ片仮名書きにする。

ウ 句読点を原則通りに付けると、行の初めに来る場合がある。その場合は、前の行の終わりに次のように付ける。

① 最後の字と同じマスに入れる。

そ う し ま す。

② 最後のマスの下に、はみ出して付ける。

そ う し ま す。

主人公のマリオと、ジユリエッタを乗せた船は、あらしに巻き込まれ、沈みかけていいのです。望みは一隻のボートにかけられていません。しかし、もうたくさんの人人が乗り込み、あとはマリオかジユリエッタか一人しか乗れないのです。

ジユリエッタ乗りなさい。  
いや、マリオ、あなたが乗つて。  
二人は言い争いました。でも、この二人の争いは、まるさり反対でした。マリオは、自分はみなしがだからいいんだと思ひながら、ジユリエッタをボートめがけてつきとばしました。

マリオには死んでいくさびしさの影もなく、明ら表情で、流れて行くボートを見守ります。

⑩ 会話文の終わりの。（読点）は、「（かぎ括弧）と重ねて一マスに入れる。

⑪ 会話の下に続けて書かないで、行頭から書く。

⑫ 改行するときは、一マスあける。